

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

パークベンチ体位での周術期褥瘡発生要因の検討

研究計画

(1)背景・意義

脳神経外科手術で用いられるパークベンチ体位(横向き姿勢)は褥瘡の発生率が高い姿勢であり、褥瘡がひとたび発生すると痛みを伴い有害事象となる。手術室では様々な予防策を講じているが発生原因の把握とそれに基づく有効な予防策を講じるが必要とされている。

(2)目的

脳神経外科で用いられるパークベンチ体位での周術期褥瘡に発生に関する危険因子をプロペンシティブスコアと機械学習を用いて同定する。

(3)方法

①割り付け有無 なし

②通常の診療範囲を超える医療行為の内容 なし

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

研究分担者 東京警察病院形成外科 渡辺頼勝